

第249回化学コロキウムのご案内

題目：生体膜の曲率と機能

講師：坂本 一民（東京理科大学理工学部客員教授）

日時：1月15日（金） 14:00～15:00

場所：国際交流会館中会議室

講演要旨：生物の基本単位である細胞は生体膜によって外部と隔離され、代謝や自己増殖のための物質の透過制御や細胞の融合・分裂は、いずれも生体膜の構造と機能によって制御されている。生体膜の機能解析モデルとして約100nm程の単層2分子膜リポソームであるLUVが広く用いられるが、独立の生命維持機構をもつ単細胞の大きさは一般に1ミクロン以上である。本講義は、膜透過性ペプチドの2分子膜透過性を例に、リポソームの機能と構造に及ぼす曲率とサイズの関係を考える。

坂本先生には、1月14日（木）と15日（金）に大学院集中講義「界面活性剤の構造と物性」をお願いしています。

連絡先：理工学研究科分子物質化学専攻 加藤 直 (kato-tadashi@tmu.ac.jp)